侵襲性肺炎球菌感染症

千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症は、2013年14週~52週に53例、2014年1~52週に66例、2015年1~48週に100例の届出があった。過去2年とも11月に増加が見られており、2015年も11月に増加したことから、2013年14週から2015年48週に届出された219例の発生状況をまとめた。

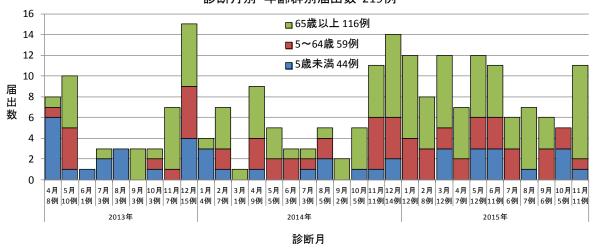
保健所別の届出数は、千葉市44例、海匝32例、安房27例、市川22例、松戸17例、船橋市16例、印旛15例、君津11例、習志野10例、野田8例、市原7例、柏市7例、夷隅2例、山武1例だった。

性別は、男性130例(59.4%)、女性89例(40.6%)だった(表)。

年齢群別では、70代47例(21.5%)、5歳未満44例(20.1%)、60代41例(18.7%)、80代35例(16.0%) が多かった(表)。

表 20	表 2013年14週~2015年48週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症					年別•性別•年齡群別届出数			
	2013年14~		4~52週	2014年		2015年1~48週		合計	
		届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%
性	男性	32	60.4	41	62.1	57	57.0	130	59.4
別	女性	21	39.6	25	37.9	43	43.0	89	40.6
年齢群	5歳未満	18	34.0	11	16.7	15	15.0	44	20.1
	5~9歳	1	1.9	0	0.0	1	1.0	2	0.9
	10代	1	1.9	0	0.0	2	2.0	3	1.4
	20代	0	0.0	0	0.0	1	1.0	1	0.5
	30代	3	5.7	2	3.0	8	8.0	13	5.9
	40代	1	1.9	4	6.1	4	4.0	9	4.1
	50代	3	5.7	6	9.1	5	5.0	14	6.4
	60代	8	15.1	16	24.2	17	17.0	41	18.7
	70代	10	18.9	14	21.2	23	23.0	47	21.5
	80代	8	15.1	11	16.7	16	16.0	35	16.0
	90代	0	0.0	2	3.0	8	8.0	10	4.6
	合計	53	100.0	66	100.0	100	100.0	219	100.0

53 100.0 66 100.0 100 100.0



診断月別年齢群別届出数を図に示す。過去2年と同様に11月の届出数は増加した。

症状等は、発熱186例(84.9%)、菌血症139例(63.5%)、肺炎91例(41.6%)、咳76例(34.7%)、意識障害57例(26.0%)、髄膜炎39例(17.8%)、全身倦怠感34例(15.5%)、頭痛24例(11.0%)、項部硬直21例(9.6%)、嘔吐19例(8.7%)、痙攣10例(4.6%)、中耳炎7例(3.2%)、大泉門膨隆1例(0.5%)の記載があった(複数報告あり)。

検査方法では、分離・同定による病原体の検出が216例(血液203例、髄液31例)、病原体抗原の検 出が27例、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出が7例(血液3例、髄液2例)あった(複数 報告あり)。